



<家庭数配布>

学校教育目標「基礎・基本を身につけ、心豊かでたくましい児童の育成」

ホームページアドレス：https://www.kyoto-be.ne.jp/sakura-es/

「ありがとう」

校長 辻 元弘

みなさんは、「ありがとう」を、どのような時に言いましたか？例えば、落とした物を拾ってもらったり、手伝ってもらったりした時など、相手の気遣いに対して、感謝の気持ちとして言ったのではないのでしょうか。そして、『ありがとう』を、言ったり言われたりしたとき、嫌な気持ちになった人は、いないのではないのでしょうか。

さて、日常的に使う「ありがとう」の語源をご存じでしょうか。これには、諸説ありますが、仏教の『有り難し（ありがたし）』に由来しているといわれ、「めったにない貴重な事柄に対して感謝を表す言葉」として使われ、現在では一般的に使われる『ありがとう』に変化したそうです。

そして、「ありがとう」の反対語は何かと言うと、実は「当たり前」なのです。これは、ごくごく普通のことや、日常を表す言葉ですね。

先日、こんなことがありました。私は、登下校の時に、児童の安全のために学校前の横断歩道で誘導をしています。ある児童から「校長先生、いつもありがとう。」と、言われました。私にとっては、「当たり前」で特別なことではないのですが、その児童にとっては、「ありがとう」と、気持ちを伝えようと思ってくれたのでしょう。しかしながら、子どもたちにとって、このような普段の何気ないことに対して感謝の気持ちを伝えることは、簡単なことではありません。

そこで、私は子どもたちに次の2つを伝えていきたいと考えています。

一つ目は、「『ありがとう』を言われたら、良い気持ちやうれしくなったことを伝える」です。そうすることで、自分の言葉が相手に良い影響を与えられることを実感できます。そして次に言ってみようという意欲につながると思います。

二つ目は、「周りの大人が、日常的に感謝の気持ちを言葉で伝える」です。相手にとっては、「当たり前」と感じていることでも、その小さな親切に「ありがとう」を伝える姿を見せることで、子どもたちの行動につながっていくのではないのでしょうか。

「ありがとう」には、相手も自分も幸せな気持ちにさせる不思議な力があるように思います。だからこそ、子どもたちには、周りに感謝を表せる人に成長してほしいと願っています。

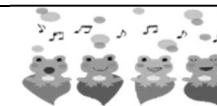
ご家庭でも、子どもたちと話題にしていいただければ幸いです。

6月の主な行事予定

日	曜	行 事
1	木	心電図二次（1・4年該当者）
2	金	プール前検診（希望者のみ）
5	月	短縮5時間授業 睡眠ログ開始
6	火	耳鼻科検診（2・4・5年） クラブ活動
7	水	全校4時間授業 たてわり結団式
8	木	検尿二次検査
9	金	授業参観5校時
12	月	一年生校外学習（前回延期）
13	火	クラブ活動・歯科検診（1・4年）
14	水	プール開き 歯科検診（5年） 薬物乱用防止教室（6年） たてわり遊び Sakura time 🍓
15	木	校外学習（4年）農業体験（5年）
20	火	委員会活動
21	水	放課後学習クラブ
23	金	一年生校外学習予備日
27	火	歯科検診（3・6年）クラブ活動
28	水	児童集会
29	木	短縮4時間授業

7月の主な行事予定

日	曜	行 事
4	月	チャレンジ学習 ジュニアわくわくスタディー （5年）
5	水	全校4校時授業（13:10下校）
11	火	チャレンジ学習 ジュニアわくわくスタディー （5年）
12	水	たてわり遊び Sakura time 🍓
13	木	短縮4校時授業・個別懇談会
14	金	短縮4校時授業・個別懇談会
18	火	短縮4校時授業・個別懇談会
19	水	短縮4校時授業・個別懇談会 給食終了
20	木	特別4校時授業・終業式
21	木	夏季休業開始・夏の学習会①
24	月	夏の学習会②
25	火	夏の学習会③



Web・掲示用のため一部省略しています。

登下校や放課後の安全を守ろう

6月は、新しい学年での生活に慣れ緊張感が緩みがちになる時期です。そのため、改めて登下校や放課後の安全について、学校において継続して指導をしています。ご家庭においても、子どもたちへの声かけをよろしく願いいたします。

<登下校時>

- 通学路を守る。 ■陸橋を渡る。 ■車道を歩いている時に車道側によらない。
- 走ったりふざけあつたりしない。 ■黄帽をかぶる。

<放課後>

- 自転車の乗り方を守る。 ■遊ぶ場所・時間・遊び方を考えて遊ぶ。
- 公園などのみんなで使う場所では、ルールや決まりを守る。

（☆ゴミは持ち帰る ☆公園の物を壊さない ☆ゆずりあって使う ☆危険な遊びはしない）